

町田 1000人の10年でもっとも熱気の大集会

ここ10年で町田でもっとも熱気ある大集会でした。7月1日、町田駅近く、最も人気のあるビルの前、大通りを挟んで行われました。立憲民主党の伊藤衆院議員の司会で、福島みずほ社民党党首、田村智子共産党副委員長、蓮舫立憲民主党副代表、宇都宮候補の順で訴えました。

各市民団体、政党による総力動員と一般市民の参加で、ある政党の責任者の推計では1000人以上ということでした。最近まで保守系といわれた伊藤後援会のかかなりの人数が一角を占めていました。

大群衆を前に、各弁士が立ち上がりから熱く、①安倍政権の悪政、②小池知事のパフォーマンスだけの無策を暴き、③「都政は宇都宮さんに任せる意外にない」ことをこれ以上になく強く訴えました。

そして宇都宮さんが大歓声の中で登場し、コロナ危機で無責任な小池氏に替って、自分ならこうする、できると極めて力強く説きました。特に感染対策と生活と事業の支援対策が説得力がありました。聞いた人ならすべて、小池氏の冷たく無責任と打算的な、猫なで声とは真逆の内容でした。



全体を通じて、「東京を変えて日本を変えよう！」という新しい潮流が流れ始めていると感じました。今、野党がコロナ後の「新しいビジョン」の統一を目指して合議を始めましたが、すでに野党が合意を得ている宇都宮さんの政策ビジョンをベースにし、宇都宮さんの「困っている人を見捨てない」という人間性と不退転の覚悟を野党連合が見習ってほしいと思ったのは私だけではないと思います。

宇都宮さんは、やや時間オーバーで電車で次の会場へ向かおうとしましたが熱狂した人たちが取り囲み、立ち往生するほどの人気でした。(まちだ市民連合 大西 宏)

小平駅2日夕 熱気と炎暑の中

宇都宮候補 迫力の街頭演説に350人超！

7月2日午後4時、都知事選も最終盤の中、小平駅南口で宇都宮けんじ候補の街頭演説が行われました。街頭演説の1時間前から、地元の小平市民連合の宣伝が行われ、午後4時、多数の市民が詰めかける中で、候補者カーが拍手の中で到着しました。末松立憲衆院議員、原共産都議、中江社民市議、橋本緑市議、水口無所属市議の応援の訴えの後、地元市民からも「宇都宮けんじさんを都知事に！」の訴え。



最後に連日奮闘している宇都宮けんじ候補から、コロナ対策で解除後に感染者が増えている東京アラートは何だったのかと問い、「ロックダウン」や「オーバーシュート」などの言葉で対策に取り組むそぶりで、初動動作・対応があまかったと指摘、対策として、①PCR検査の拡大、②半減された保健所の拡充、③都立病院・公社病院の独法化中止、充実・強化を、④現知事のいう「自粛」「自己責任」でなく、補償は「一部でなく、全業者に！」と強調し、財源を明確に示して訴えました。「力を合わせれば大きな力になり、都政を変え、日本の政治を変える力になる。最後まで頑張りぬきましょう」と訴え、大きな拍手に包まれました。心に染み入る宇都宮さんの演説でした。

都知事選全国からのカンパ続々

(続報)ありがとうございます。 北区革新懇(札幌)、京都革新懇、

川崎革新懇、兵庫革新懇、香川革新懇、緑区革新懇(埼玉)、福岡市個人

【2面につづく】

品川 都民の命と暮らしを託せるのは宇都宮候補 都心低空飛行ルート中止を大井町で訴え

「革新都政をつくる品川の会」の取り組みとともに、共産党、立憲民主党、社民党が一緒になって、都知事選をたたかう品川区。6月26日には宇都宮候補を迎えて品川唯一の街頭演説が大井町イトーヨーカドー前で行われ、400人を超える人が参加しました。演説会の前には、宇都宮候補の都内現場レポートとして、品川区で大問題になっている都心低空新飛行ルートに反対する関係者と懇談されました。その後始まった演説会では、地元で低空飛行ルートに反対する「羽田増便による低空飛行ルートに反対する品川区民の会」の秋田操さん、品川区視覚障害者福祉協会会員の堀利和さんが



訴え、続いて、政党から、社民党品川総支部・加藤幹事長、共産党・白石都議の訴えに続き、宇都宮候補が、「今回の新ルート問題は重要政策の一つ。都民の命、暮らしを犠牲にして低空飛行をやってはならない」と力強く訴えました。さらに、医療体制の拡充やカジノ問題などを訴え、「検察庁法改正案を止めた力は一人一人の小さな力が集まったもの。みんなが力を合わせれば政治は変えられる。選挙の主人公は都民一人一人。私たちのために、そして、選挙権のない子どもたちの未来のために希望の持てる東京にしていこう」と訴えました。折しもこの日も南風で低空飛行は行われ、大井町上空を300メートルで通化する飛行機の音に「うるさいですね!」と演説が止まることも度々ありました。(品川革新懇・池野 隆) 左写真は低空飛行現地調査

府中 宇都宮候補、けやき並木で300人に渾身の訴え

1日午後、府中けやき並木で宇都宮けんじ候補が街頭演説。直前に雨も上がり聴衆は300人。市民弁士の「選挙で変えよう、



府中市民連合」村山正之さん、「都立病院をよくする連絡会」森越初美さんが宇都宮へのさんへの支持を熱烈に訴え。共産党・山添拓議員「弁護士になったとき宇都宮さんは日弁連会長、尊敬する大先輩。立憲民主党の菅直人議員「常に弱者に寄り添い、サラ金問題では国政を動かし改正貸金業法を成立させた立役者」と宇都宮さんへの支持を訴え。宇都宮候補、コロナ過対策への具体的政策などに触れ「政治の、都政の主人公は都民、そして子供たち。この都政何としても変えたい、立憲民主、共産、社民など立憲政党にも支えられた選挙戦。あと4日、勝利めざし全力で頑張る」との渾身の訴えに聴衆から「宇都宮頑張れ、頑張る」コール。立憲民主の西宮・須山・稲津・前川、共産の赤野・竹内、社民の村崎議員も紹介されました。終了後、候補者カーは一時間にわたり区内の団地などを巡りました。

西東京 100メートルのアピール宣伝

7月3日、雨の降る中4時より田無駅北口から100m離れたアスタ前までカラフルな雨具を身に着け26人が参加しました。手作りの横断幕3枚や、大きなプラスター、要求を描いたプラカードを首から下げたりして、「今日124人も感染者ができました。PCR検査を充実させる宇都宮けんじをよろしくお願ひします」と声を上げました。「もう入れたよ」と手を挙げた男性、「雨の中ご苦労さん」と女性、チラシ配布は180枚でした。

西東京での都知事選のとりくみは6月7日の革新懇の宣伝カーを市内に回したことから始まりました。新たに組織をつくることはできないと市民連合定例会で相談。19区の会議に西東京からは市民連合担当者と立憲民主党・共産党・無所属の市議会議員が参加しています。(西東京市民連合・革新懇 今村享子)

